



霞 城 コ ン パ ス

進路情報 第14号 令和元年12月24日発行



今年を振り返って。

まもなく今年も終わろうとしています。皆さんは、どのような1年を過ごしましたか。「今年の目標は・・・」とか「今年はこれに挑戦しよう」とか考えたと思います。どのくらい成果があったか、どのくらいの課題が残されているかを考えてみましょう。それをふまえて、新たな年を迎えます、目標を立ててみましょう。

◆ 12月～1月の進路日程

進学《高1・高2対象進学セミナー》 場所：視聴覚室 講師：桑名 暢先生

大学・短大・医療系看護専門学校の進学を希望する生徒対象です。必ず出席をしてください。

12月25日(水) 11:00～12:00 高2・高1

冬期講習前に行います。
間違えないように。

《高1・高2冬期講習》 12月25日(水)・26日(木)・27日(金) 13:00～16:20

3日間休まず、遅れず、積極的に出席してください。毎日の授業を受けるだけでは進学に対応できません。各教科とも講習で進学向けの話をさせていただきます。事前に予習をして、真面目に講習に取り組むことが大切だと思います。また、模擬試験も同様に大切です。

(※高1・1/25、高2・1/24-25 進研記述模試があります。)

就職《次年度卒業予定者 就職セミナー》 12月25日(水)・26日(木)の13:00～16:00

就職希望者向けの初めてのセミナーです。早い段階から、就職に必要なマナーやコミュニケーションスキルなどを桑名先生から詳しく教えていただきます。とても大切な機会になりますので、まずは休まず参加することが就職への第一歩です。

■ 令和2年3月卒業予定者の進路希望・合格状況

12月23日現在

	I 部	II 部	III 部	合計	合格・内定
4年制大学	1	1	1	3<9>	2(3)
短期大学	0	1	0	1<3>	1(3)
専門学校	7	1	1	9<11>	8(8)
就 職	8	13	5	26<35>	20(28)
そ の 他	6	1	0	7<0>	—(0)
合 計	22	17	7	46<58>	31(42)

《第2回進路ガイダンスが終わりました。》

12月10日(火)に、全校一斉の第2回進路ガイダンスが行われました。今年は、東京を拠点に活動する元お笑い芸人で、現在は笑いを活用するセミナーを行っている「ピーチ」さん、から「高校生のための笑顔の未来の作り方」をテーマに講話をいただき、そして後半は、進路別説明会を行いました。ピーチさんからは、どのくらいの時間、笑っているのか等のクイズを交えて、笑うことの大切さを教えていただきました。

後半の進路別説明会では、第1回進路ガイダンス同様に企業の方からも参加していただき大変、勉強になるガイダンスになりました。それぞれのブースでは、わかりやすくパンフレットや映像を見せていただきながら説明をしていただき、参加した生徒にとっては有意義でためになることばかりでした。各種学校も企業も少人数制で丁寧に説明いただいたことで、参加した生徒のアンケートを見るとほとんどが「とても役立った」「役立った」の高評価でした。今後の進路検討に活かしてほしいと思います。以下に具体的な生徒のコメントを載せましたのでご覧ください。

◎生徒の感想より抜粋

《大学希望》

- 私は1年次なので、将来のビジョンが見えていなかったが、進路のことを考える良い機会になったと思う。
- 自分が思っていた印象が少し変わった。色々な視点からの話が聞けて面白かった。自分の進路を幅広い視点から見つめ直したいと思った。

《専門学校希望》

- 行きたいコースの話が聞けてとても良かった。オープンキャンパスに行って、知りたいことを見つけていきたい。

《就職希望》

- それぞれの会社の内容、やりがいなどを直にお聞きできてとても良かった。まだ、やりたいことは定まっていないが、今回のガイダンスを基に将来について少しずつ決めていければ良いなと思った。
- アパレルと製造のお話をお聞きしましたが、全く職種の違う仕事でも、一番大切なのは「あいさつ」だと感じた。就職活動は来年ですが、アルバイトや学校生活で「あいさつ」を意識していきたいなと思った。

※就職内定者のみなさん、注意してください。

○内定先での研修について

年末の休業や2月に内定をいただいた企業から『研修』（アルバイト）をしてほしいという話が出るかもしれませんが、これは、全国的に（文部科学省・厚生労働省通達）禁止されています。

※不明な点は、担任の先生を通して、相談してください。

○事故について

休業中はもちろん3月まで事故を起こした場合、内定が取り消されてしまいます。運転免許を取得している人も多い本校の場合、冬道に運転をして交通事故を起こすとすべて無になりますが、自分の命や身体を守ることは何より大切なことです。